

目的・方法 研究目的・研究方法については、第31回日本家政学会九州支部総会研究発表要旨集で述べたので、ここでは省略することとし、今回の研究のひとつであるいろいろとかまどについて発表する。いろいろとかまどは火を扱うところであり、人々の生活の中で重要な部分としめるものである。そこで、いろいろとかまどの全国的分布を調べることにより、民家の住まい方の一端をみてみたいと思う。

結果 いろいろとかまどは共に全国的に分布しており、いろいろ地帯、かまど地帯といった明確な区分はできなかつた。しかし、大まかには関西以东はいろいろ地帯、関西以西はかまど地帯といえる。だが、いろいろは関西以西にも山脈・山地沿いに分布しており、いろいろが寒い地方に分布していることがわかる。また、かまどは主に関西以西に分布しているが、いろいろ地帯にも進出し、全国的分布をみせている。

さらに、いろいろとかまどの全国的分布を調べていくうちに、地方により独特の形態のかまどがあることがわかった。それは、京都・奈良を中心に分布する美しいふくらみをとったまが玉形の曲線のかまどであり、中国地方に分布する土間に築かれて床上からたく形態のかまどである。また、かまやといってかまどを別棟にしたものも、少数ではあるが存在している。その分布をみると、全般的に暖かい地方でかつ台風の通る地方にこのかまやがみられることから、かまやは火事のおそれのある「火」を家の中に入れるよりも、台風など風の影響で防火のため「火」を別棟にしたのではなにかと考えられる。